

歯の健康づくりキャンペーン

手洗い・うがい・歯みがきを3ヵ月間継続して、習慣化することを目的としています。あわせて10月から増える、お子様の風邪予防にもご家族みなさんと楽しく取り組んで「かぜ」や「むし歯」のないつよい子を育てましょう！

対象者 当健康組合に加入の3歳～10歳のお子様

※年度内に3歳～10歳になるお子様で平成30年8月21日現在在籍者

期 間 平成30年10月～12月の3ヵ月間

【平成31年1月31日までにアンケートをポストに投函】

委託先からパンフレット【家族で取り組むかぜ&むし歯予防つよい子になるぞ！キャンペーン2018】をお送りします。

お子様が手洗い・うがい・歯みがきできた日は、シールを貼ります。

3ヵ月後、アンケートにご記入いただき、1月31日までポストに投函します。アンケートにご協力いただきましたらもちろんプレゼントを差し上げます。

委託先 (株)あまの創健

無料歯科健診に行こう！



お口の健康、気になりませんか？

セルフケアも大事ですが、歯科医院にて定期的に歯科健診を受けることで、お口の中の状態を把握できます。当健康保険組合にご加入の方ならどなたでも。

お申し込みは「歯科健診センター」へ

www.ee-kenshin.com/

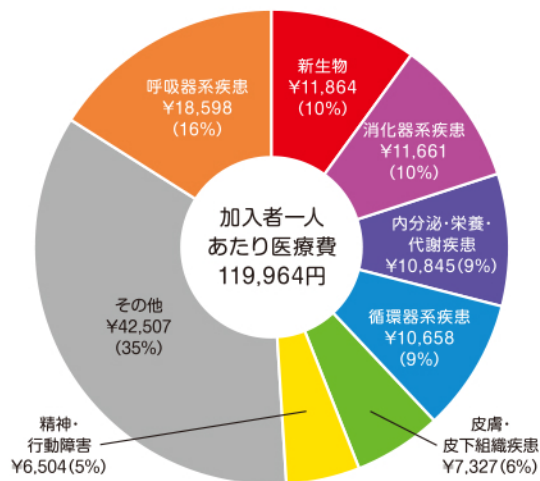
歯科健診センター



●ご利用方法のチラシが必要な方はご連絡ください。

北海道コンピュータ関連産業健康保険組合 平成29年度疾病統計にみる医療費の動向

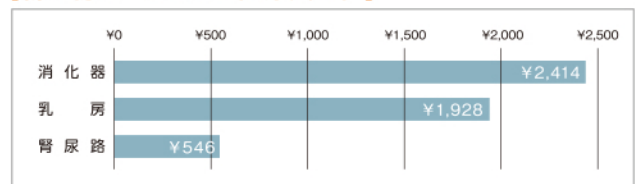
■平成29年度医療費 疾病別構成比



●呼吸器系疾患:かぜ、ぜんそくなど ●新生物:がんなど ●消化器系疾患:胃炎、腸炎など
●内分泌・栄養・代謝疾患:糖尿病など ●循環器系疾患:高血圧、心疾患、脳血管疾患など
●皮膚・皮下組織疾患:アトピー性皮膚炎など ●精神・行動障害:うつ病や統合失調症など

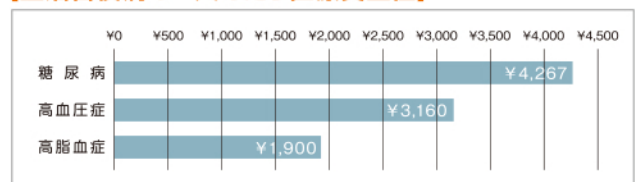
当健康保険組合の平成29年度の医療費は加入者一人あたりで119,964円であり、疾病構造別ではかぜ、ぜんそくなどの「呼吸器疾患」が多かったものの、「新生物」、「内分泌・栄養・代謝疾患」、「循環器系」などの生活習慣病にかかる医療費の割合は、全体の28%を占めました。生活習慣病を引き起こす因子として食事、運動、ストレスなどさまざまなものが挙げられますが、生活習慣病は初期段階では症状が現れず、重症化してから発見されることが多いといわれますので、疾病の予防と早期発見に務めるためにも人間ドック等の健診を定期的に受けることが大切です。また、メンタル疾患の医療費が多いことも当健康保険組合の特徴であり、事業所でのメンタルヘルス講習会の開催や、当健康保険組合で実施している無料相談やカウンセリング(P8参照)などの活用をお勧めします。

【新生物の一人あたり医療費上位】



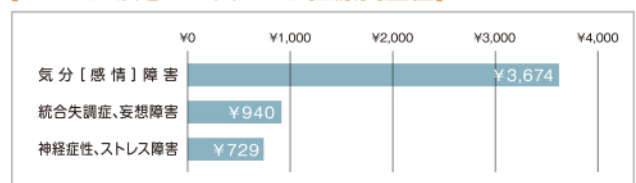
新生物の一人あたり医療費は、上位より消化器(胃、大腸など)、乳房、腎尿路(腎臓など)の順となっており、いずれの疾病も60～65歳の医療費がもっとも多くなりました。また、乳房については25～29歳でも多い傾向となっています。

【生活習慣病の一人あたり医療費上位】



生活習慣病の一人あたり医療費は、上位より糖尿病、高血圧症、高脂血症の順となっており、いずれの疾病も40歳から医療費が急増しており、年齢を重ねるごとに医療費が増加しています。

【メンタル疾患の一人あたり医療費上位】



メンタル疾患の一人あたり医療費は、上位より気分障害(うつ病など)、統合失調症・妄想障害、神経症性・ストレス障害の順となっており、総体では30～54歳の医療費が多く、気分障害については10歳代と55歳以降で前年より増加しています。